

打上川治水緑地(大阪府寝屋川市)

開設：平成9年3月全面開設(都市公園法の規定による)

面積：118,779㎡

建築面積：194㎡(建ぺい率0.16%)

緑被面積：18,302㎡(緑被率15.41%)

施設：休憩施設(四阿2棟、池2箇所、せせらぎ1箇所、ベンチ10基)

管理施設(管理棟1棟、倉庫1棟、案内板7基、便所4棟、公園灯43灯)

その他(芝生広場2箇所、多目的グラウンド4箇所、水飲み場2基、モニュメン



打上川治水緑地 箇所別現況写真

北側園路の桜風景(主要地方道枚方交野寝屋川線沿い)



毎年4月になると、主要地方道枚方交野寝屋川線沿いの園路には花見客が訪れ、満開の桜のトンネルを散歩する姿が多数見られる。
また、令和2年には震災復興のシンボルである「きぼうの桜」が園内に植樹されるなど、打上川治水緑地といえば「桜」というイメージが定着している。

桜のライトアップ風景(主要地方道枚方交野寝屋川線沿い)



例年実施している打上川治水緑地の桜並木のライトアップや、桜をイメージしたスイーツ、日替わりで市内の飲食店が出店するカフェに加え、ツイッターやインスタグラムなどのSNSのための撮影ポイントや、桜の回廊を進むにつれてうつり変わる音楽などを企画している。
、2019年のライトアップ来訪者は10日間で73,000人、2017年はライトアップ期間13日間で35,000人、2018年はライトアップ期間10日間で59,300人であり、増加傾向が著しいイベントである。

夏の寝屋川まつり風景



例年本市の夏の一大イベントとして開催される寝屋川まつりは、令和元年度は7月28日(日)のみの開催であったが、75,000人の来場があった。
60店舗以上の模擬店や多数のイベントが実施され、毎年にごわいを見せている。

秋のメタセコイヤ(芝生広場②北東部)



本園内東部の池周辺には、水辺による潤いのある空間とあいまって、紅葉の時期に美しい景観を演出するメタセコイヤが見事に生長し、インスタグラム等でも市民の人気を博している。
また、夏には木陰となり利用者の休息ポイントとして親しまれている。

芝生広場①と中央モニュメント



本園中央部の芝生広場は、休日には散歩やスポーツなどで多くの市民が利用されており、平日にもペットの散歩に訪れる姿が多く見られる。
寝屋川まつりのほかにも多数のイベントが開催されており、今後は民間事業者によるイベントやキッチンカーなどの設置を募集するなど、公園利用者への更なるサービス向上に向けた取組を進める。

園内のせせらぎ風景



芝生広場①の北側に流れるせせらぎは、本園のなかでも安らぎと潤いを提供する空間として自然的景観を形成しているが、安全面から原則的に入水を禁止している。
市民からは園内の水遊びスペースの設置要望が高いことから、新たな施設設置等を含めた検討が求められる。